

おはなし りぼん

第48号

総会臨時号

2009年7月1日発行

=NPO 市民ユニットりぼん=

八王子市横川町 1166-2 メゾンさつきの 101 号TEL042-621-4781

URL <http://www10.ocn.ne.jp/~ribo>

発行責任者 鈴木 真砂子



ちぎり絵制作:

ひだまりの家利用者

目次

総会報告	2
新旧代表より	3
今期理事紹介	4

「総会を終えて」

内田富美子

新型インフルエンザのニュースが日々更新されるなか、第十一回NPO法人市民ユニットりぼん定期総会を予定通り開催しました。

種々の行政からの通達を総合し、「インフルエンザを持ち出さない・持ち込まない」という感染症予防の基本を踏まえて行動していくことを一同で再確認していたこと、関東での新型インフルエンザ感染者第一号が八王子市在住であったこと等を考慮し、総会当日は会場入口での手の消毒に始まり、マスク着用というものものしさの中、会は進行していきま



居宅、訪問介護、ひだまりの家、親子つどいの広場、総務、会員活動各部門からの前年度総括、収支決算報告により『りぼん』の今を理解し、今年度の方針、予算が満場一致で承認されました。

また、今年度は理事改選の年にもあたります。今までご尽力くださった理事の方々に感謝の拍手を送るとともに、新しい顔ぶれとなった理事の紹介も行いました。本当にありがとうございました。そしてよろしくお願い致します。

総会を機に、『りぼん』の目的「市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与すること」を新たに読み返し、自分の行えることを考えました。慌ただしい毎日ですが、目的を意識しながら過ごしていきたいと思えます。





「退任のあいさつ」

大森 一美

このたび十二年間に及びました代表の役目を終えさせていただくこととなりました。

長い間皆様にご支援いただきましたことを感謝申し上げます。

地域にたすけあいの仕組みを作りたいと始めたりぼんの活動も今年で十八年目を迎えますが、始めた時には予想もできなかった介護保険制度などが整い社会も変わりつつあります。

これから社会の変化を受け止めつつ、私達は地域で何ができるのかを常に自問し続けながら方向性を見極め、新代表の下活動を続けていくことと思えます。

今後とも皆様の変わらぬご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

「就任にあたり」

鈴木 真砂子

地域に根ざした福祉を掲げ、熱いハートと行動力だけが財産の任意団体から出発した「りぼん」も十七年が経ちました。

その間、NPO法人格取得、介護保険事業参入とその都度、決断しながら大きく飛躍してきました。光熱費や電話代の捻出に頭を悩ませていた頃と比べると夢のようです。

今、新たに人材不足という課題を抱えてはいますが、人を大切に、共に知恵を出し合い十七年の歴史に押しつぶされない様、頑張っていきたいと思えます。ご支援お願ひ致します。



=理事紹介=

退任理事

井上 智恵
井上 富士子
上村 ひろみ
澤 さおり
高田 秀子



新任理事

上浪 和子
内田 富美子
大野 正子
大森 一美
木下 清子
鈴木 真砂子
田野倉 裕子
浜口 龍太
早川 寛子
平野 みよ子
森 明子



監事

海老名 邦彦

(敬称略 五十音順)

=つぶや記=

2009年7月22日。奄美大島北部、トカラ列島、屋久島、種子島南部など、皆既日食帯と呼ばれる細長くのびた地域・海域内では、皆既日食を観察することができるそうです。東京でも、午前11時10分頃 太陽の4分の3まで月が入り込み日食の最大を迎えるとか……。日本の陸地に限ると46年ぶりの現象。次回は26年後とのこと。飛ぶように売れているという「日食観察用サングラス」。私も、買って大空を眺めようかなあ。。。。。

F. U